

## 点検・整備チェックシート

設備区分:レベル I

稼動形態:待機系設備

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備<待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**監視操作制御設備(4)**  
 (機側操作盤)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検	年点検					
機側操作盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H	
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E	
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D	
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E	
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E	
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)
			取付状態	-	-	E	-	-	E	
タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	M		
		設定値の確認	-	-	E	-	-	E		
変換器		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M		
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M		

特記事項

- \*1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- \*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備<待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**監視操作制御設備(5)**  
 (補助継電器盤)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増縮	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		月点検	年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				目視点検	管理運転点検								
補助電器盤 (リレー型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	-	M	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	-	D	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	-	-	E	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	-	-	E	E	(自)
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	-	H	-	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	-	E	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A	(2年毎)	E	-	-	A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	-	E	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	-	-	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	-	E	E	
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	-	-	E	-	E	(自)	
			取付状態	-	-	E	-	-	-	-	E	E	
タイマ		動作確認	-	-	M	-	-	-	-	M			
		設定値の確認	-	-	E	-	-	-	-	E	E		
補助継電器		取付状態、汚損、変色	-	-	E	-	-	-	-	E			
		動作状態	-	-	D	-	-	-	-	D	シーケンスチェックによる		
補助電器盤 (PLC型)	全般		動作確認 *1	-	D	-	-	D	-	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	-	E	-	-	-		
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	-	E	E			
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	-	H	H			
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	-	E	E			
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	-	M	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M	M		
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	-	D	D		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E	E	E	(自)	
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	-	-	E	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	-	-	E	E	(自)
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	-	H	-	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	-	E	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A	(2年毎)	E	-	-	A	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	-	E	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	-	-	E	E	E	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	-	E	E	
	運転時間計		指示状態	-	E	(E)	-	-	E	-	E	(自)	
			取付状態	-	-	E	-	-	-	-	E	E	
PLC		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	-	-	M			
		入力信号の確認	-	-	D	-	-	-	-	D	シーケンスチェックによる		
		出力信号の確認	-	-	D	-	-	-	-	D	シーケンスチェックによる		
		内蔵電池	-	-	-	-	-	-	-	-	X		

特記事項

- \*1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。
- \*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備<待機系設備>

機 場 名：  
 点検実施  
 年 月 日：

**監視操作制御設備(8)**  
 (系統機器盤)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検	年点検					
全般			動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	
盤面			発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H	
盤内			汚損、異物	E	E	E	-	E	E	
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			シーケンスチェック	-	E	D	-	-	D	
			保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)
盤内器具			取付状態	-	-	E	E	E	E	
			配線状態	-	-	E	E	E	E	(自)
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
操作スイッチ			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)
			取付状態、汚損	E	E	E	-	-	E	
指示計			動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
表示器・表示灯			点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
運転時間計			指示状態	-	E	(E)	E	-	E	(自)
			取付状態	-	-	E	-	-	E	
タイマ			動作確認	-	-	M	-	-	M	
			設定値の確認	-	-	E	-	-	E	
配線用遮断器			取付状態、汚損	E	E	E	-	E	E	
			変色	E	E	E	-	E	E	
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
電磁接触器			取付状態、汚損	E	E	E	-	E	E	
			変色	E	E	E	-	E	E	
			音響	-	S	(S)	-	-	S	
			動作状態	-	D	D	-	-	D	(自)
			接触面の状態	-	-	E	-	-	E	(自)
配線用漏電遮断器			取付状態、汚損	E	E	E	-	E	E	
			変色	E	E	E	-	E	E	
			開閉動作	-	-	D	-	-	D	(自)テスト釦による動作
			接続部	-	-	T	-	E	T	
計器用変成器			汚損、腐食、過熱	-	E	E	-	E	E	(自)
			音響	-	S	S	-	-	S	(自)
			ヒューズの異常	-	E	E	-	E	E	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			接地線の接続状態	-	-	E	-	E	E	(自)
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			汚損、油漏れ、振動、過熱、変形	-	E	E	-	E	E	(自)
進相用コンデンサ			音響	-	S	S	-	-	S	(自)
			機器外箱の接地	-	-	E	-	E	E	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
補助継電器			取付状態、汚損、変色	-	-	E	-	-	E	
			動作状態	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる
PLC			電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M	
			入力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる
			出力信号の確認	-	-	D	-	-	D	シーケンスチェックによる
			内蔵電池	-	-	-	-	-	-	×

特記事項 \*1 全般で点検する事項は網掛け部に示すものである。管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。  
 \*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 監視操作制御設備<待機系設備>

機 場 名：  
 点検実施  
 年 月 日：

**監視操作制御設備(12)**  
 (計 装 盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コ ー ド	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検					
			目視点検	管理 運転点検						
計 装 盤	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	
	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H	
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E	
			絶縁抵抗 *2	-	-	M	-	-	M	(自)
	盤内器具		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	
			取付状態	-	-	E	E	E	E	
	操作スイッチ		配線状態	-	-	E	-	E	E	(自)
			端子・端子台の状態	-	-	E	E	E	E	
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A (2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	表示器・表示灯		点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E	
	保護装置		保護リレーの動作	-	-	D	-	-	D	(自)
			警報装置の異常	-	E	E	-	E	E	(自)
	監視用センサ類		避雷器	-	E	E	-	E	M	
			温度センサの動作	-	E	(D)	-	-	X	
	変換器、調節器		圧力センサの動作	-	E	(D)	-	-	X	
流量センサの動作			-	E	(D)	-	-	X		
振動センサの動作			-	E	(D)	-	-	X		
速度センサの動作			-	E	(D)	-	-	X		
開度センサの動作			-	E	(D)	-	-	X		
監視用センサ類		電源電圧の確認	-	-	M	-	-	M		
		入力信号の確認	-	-	M	-	-	M		
		出力信号の確認	-	-	M	-	-	M		
		設定値の確認	-	-	D	-	-	A		

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

\*2 弱電機器には、絶縁抵抗測定禁止箇所があるので事前に確認すること。

点検・整備チェックシート 主ポンプ <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**主ポンプ(1)**  
 (立 軸)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S		聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検					
全 般	主ポンプ全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-
				-	S	-	S	-	-	-
本 体	吐出しバンド		ケーシングを主体とする本体振動	-	H	(M)	-	-	M	(据付部、吸込口、案内羽根を含む)
	インペラ		腐食	-	-	-	-	-	E	
			摩耗	-	-	-	-	-	E	
欠損			-	-	-	-	-	E		
主 軸 及 び 軸 受	主軸及び軸継手全般		芯出し	-	-	-	-	-	M	
			錆	-	-	E	-	-	C	
			摩耗	-	-	E	-	-	M	
			締め具合	-	-	T	-	-	T	
	外側軸受		カプリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M	
			温度	-	H	(M)	H	-	M	
			振動	-	H	(M)	H	-	M	
			摩耗	-	-	-	-	-	M	
			油質量(質)	E	E	E	E	-	X	
			油漏れ	E	E	(E)	E	-	E	
水中軸受 (セラミックス軸受)		摩耗	-	-	-	-	-	M		
		傷、割れ	-	-	-	-	-	M		
水中軸受 (ゴム軸受)		通水状況	-	E	(E)	E	-	E		
		摩耗	-	-	-	-	-	M		
グランドパッキン		フローサイト	-	-	C	-	-	C		
		温度	-	H	(H)	H	H	H		
		封水量	-	E	(E)	E	-	E		
		劣化	-	-	-	-	-	X		
無給水軸封装置		温度	-	H	(H)	H	H	H		
		漏水	-	E	(E)	E	-	E		
		劣化	-	-	-	-	-	X		
計 装 機 器	フロースイッチ		作動	-	E	W (M)	E	-	X	(M)は導通チェック
	計器類 (圧力、温度、水位他)		圧力計指示	-	E	(E)	E	-	X	
			圧力計の零指針	E	E	E	-	-	X	
			温度計指示	-	E	(E)	E	-	E	
そ の 他	全般		水位計指示	E	E	(E)	E	-	A	
			塗装	-	-	-	-	-	X	
水 槽	吸込水槽		土砂の堆積	-	-	M	-	-	C	
			水位	E	E	M	E	-	M	

特記事項

- \*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時にケーシング振動や軸受温度や封水量、油漏れなどを確認する。また、管理運転前後には油質量などの確認を実施する。
- \* ポンプ本体の内部状況については、設置場所の水質や環境を考慮して点検する。

点検・整備チェックシート 吐出し弁 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

吐出し弁

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月 点 検	年 点 検						
				目視点検	管理 運転点検						
手 動 式 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-		
	弁箱		水抜き	-	-	-	-	-	-	-	寒冷地実施
			腐食	-	-	E	-	-	E	-	
			劣化	-	-	E	-	-	E	-	
			塗装	-	-	-	-	-	X	-	
	水密ゴム		劣化	-	-	-	-	-	X		
	グランドパッキン		水漏れ	-	-	A	-	-	X		
	減速機構及び スピンドル部		潤滑油量	-	-	E	-	-	X		
			回転体の滑らかさ	-	H	H	H	-	H		
電 動 式 弁	全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-		
	弁箱		水抜き	-	-	-	-	-	-	-	寒冷地実施
			腐食	-	-	E	-	-	E	-	
			劣化	-	-	E	-	-	E	-	
			塗装	-	-	-	-	-	X	-	
	水密ゴム		劣化	-	-	-	-	-	X		
	グランドパッキン		水漏れ	-	-	A	-	-	X		
	減速機構及び スピンドル部		潤滑油量	-	-	E	-	-	X		
			音	-	S	(S)	S	-	S		
	開度計		零指針	-	-	E	E	-	A		
			作動	-	E	(E)	-	-	E		
	リミットスイッチ		作動	-	E	(M)	E	-	X		
	トルクスイッチ		作動	-	-	-	-	-	X		
電動機		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M		(自)盤にて測定	
		温度	-	H	(H)	-	-	H			

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。

点検・整備チェックシート 逆流防止弁 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**逆流防止弁**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
			定 期 点 検				運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
			月 点 検		年 点 検						
			目視点検	管理 運転点検							
逆 流 防 止 弁	全般	動作確認 *1	-	D	-	-	D	-	-	-	
		損傷の有無 *1	-	E	-	-	E	-	-	-	
	弁箱	腐食	-	-	-	-	-	-	-	E	
		塗装	-	-	-	-	-	-	-	X	
	弁体	腐食	-	-	-	-	-	-	-	E	
		塗装	-	-	-	-	-	-	-	X	
		変形	-	-	-	-	-	-	-	E	
	弁軸	腐食	-	-	-	-	-	-	-	E	
		回転の滑らかさ	-	-	-	-	-	-	-	D	

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。



点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**主原動機(1)**  
**(ディーゼル機関)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検					
全 般	ディーゼル機関全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	異音、漏れ、センサ動作などを確認
				-	S	-	S	-	-	
機 関 本 体 関 係	台板 シリンダヘッド		締まり具合、損傷	E	E	E	E	-	-	
			ヘッドガスケットの劣化	-	-	-	-	-	X	
			弁の摩耗パネのへたり タペットの間隙	-	-	-	-	-	-	W
	クランク室		シリンダライナの摩耗	-	-	-	-	-	M	(連結棒本体、歯車、ピストンブッシュを含む)
			コンロッドメタルの摩耗	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトの摩耗	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトメタルの摩耗	-	-	-	-	-	M	
			ボルトの緩み	-	-	T	-	-	T	
			カム軸の摩耗	-	-	-	-	-	M	
	過給機		フィルタの状況	-	-	E	-	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
			油量 *2	E	E	E	E	-	X	油ダメ付のみ
	ピストン		本体	-	-	-	-	-	W	
			ピストンの摩耗 ピストンリング摩耗	-	-	-	-	-	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)
调速機		調整	-	-	-	-	-	W	(ガバナパネ、速度設定ハンドル、軸受け、潤滑油、燃料ラック、駆動歯車を含む)	
外 部 軸 受		油量	E	E	E	E	-	X	(フライホイール含む)	
		振動	-	H	(H)	H	-	M		
		温度	-	H	(H)	H	-	M		
		摩耗	-	-	-	-	-	M		
遠 心 ク ラ ッ チ		動作確認	-	E	(E)	E	-	E		
		油量	E	E	E	E	-	X	給油式の場合	
		磨耗	-	-	-	-	-	M		
内 部 潤 滑 油 ポ ン プ		振動	-	H	(H)	H	-	H	(潤滑油系統含む)	
		作動	-	S	(S)	S	-	W		
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E		
初 期 潤 滑 油 ポ ン プ		作動	-	S	(S)	S	-	W	(圧力調整弁、電動機含む)	
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M		
機 関 オ イ ル バ ン		振動	-	H	(H)	H	-	H	油交換時はタンク内清掃のこと	
		オイルパン油量 *2	E	E	E	E	-	X		
		オイルパン内腐食 性状分析	-	-	-	-	-	M		
潤 滑 油 濾 過 器		内部清掃	-	-	C	-	-	C		
		エレメント	-	-	-	-	-	X	ベーパータイプは油交換時に交換	
ク ラ ン ク 軸		固着(ターニング)	-	D	-	-	-	-	(歯車、軸受けを含む)	
潤 滑 油 冷 却 器		漏れ	E	E	(E)	E	-	W		
		腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	W		
		劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	W		
		防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	E		
		ドレン	-	-	A	-	-	A	漏水の確認	

特記事項

- \*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、動作時に振動や異音および油漏れやセンサ類の動作などを確認する。また、管理運転前後には油量や配管漏れなどの確認を実施する。
- \*2 2年毎に交換。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**主原動機(2)**  
**(ディーゼル機関)(2)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増縮	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検						
燃料系	燃料噴射ポンプ		ラックの動作、継手	-	H	H	H	-	H	(空気混入、タペット、カム軸、燃料ラック、吸気弁本体を含む)	
			エア抜き	-	-	A	-	-	A		
			ブランジャ・吐出し弁劣化	-	-	-	-	-	W		
			漏れ	E	E	(E)	E	-	E		
			油量 * 1	E	E	E	E	-	X		油ダメ付のみ
			異物混入	-	-	E	-	-	-		
			突始め調整ボルト緩み	-	-	T	E	-	T		
	噴射時期	-	-	M	-	-	M				
	燃料濾過器		内部清掃	-	-	C	-	-	-	水分チェック	
			エア抜き	-	-	A	-	-	A		
			エレメント	-	-	E	-	-	X	付着物点検、ペーパータイプは2年毎に交換	
	燃料弁		噴霧テスト	-	-	A	-	-	A	噴口詰り、後タレチェック	
			摩耗	-	-	-	-	-	W		
	高圧管		漏れ	-	E	(E)	E	-	E		
管内エア抜き			-	-	A	-	-	A			
漏れ(亀裂)			-	E	(E)	E	E	X			
燃料供給ポンプ配管		振動	-	H	(H)	H	-	H			
		摩耗	-	-	-	-	-	W			
		腐食	-	-	E	-	-	E			
		漏れ	E	E	(E)	E	E	E			
冷却水系	内部冷却水ポンプ		振動	-	H	(H)	H	-	H		
			摩耗、劣化	-	-	-	-	-	W		
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E		
			配管腐食	-	-	-	-	-	W		
			配管振動	-	H	(H)	H	-	H		
			バルブ開閉	-	-	E	E	-	E		
			バルブ劣化	-	-	-	-	-	W		
	空気抜き	E	E	(E)	E	-	E				
温調弁		作動	-	E	(E)	E	-	W			
空気系	分配弁・塞止弁・操縦弁		水質検査 * 2	-	-	-	-	-	M		
			作動	-	E	(E)	E	-	W		
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E		
			配管劣化	-	-	E	-	-	E		
			配管漏れ	-	E	(E)	E	E	E		
			配管腐食	-	-	E	-	-	E		
	電磁弁・減圧弁		作動	-	E	(E)	E	-	X	30k用電磁弁は年点検で分解	
始動系	始動弁		劣化	-	-	E	-	-	X		
			エア漏れ	-	E	(E)	E	-	X		
			エア漏れ * 3	-	H	(H)	H	-	H	始動15分後接続配管にて	
			作動確認	-	-	W	-	-	W	機関装着後弁棒動き確認	
停止用エアピストン		TPO始動(エアラン)	-	-	D	-	-	D	全シリンダ		
		作動	-	D	W	D	-	W			
空気漏れ		作動	-	D	W	D	-	W			
		空気漏れ	-	E	(E)	E	-	E			

特記事項  
 \* 1 2年毎に交換。  
 \* 2 不凍液、腐食防止剤を使用している場合の濃度管理は1年毎。  
 \* 3 高温変色している場合は火傷に注意すること。

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**主原動機(3)**  
**(ディーゼル機関)(3)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	目視点検							
電気始動系統	セルモータ		ブラシの状態	-	-	E	-	-	X			
			作動	-	E	(E)	E	-	W			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
	予熱栓		作動	-	E	(E)	-	-	X	付属の場合		
			劣化	-	E	E	-	-	X	付属の場合		
	電磁スイッチ		作動	-	E	(E)	E	-	W	(ケーブル、切替開閉器、操作開閉器、補助継電器、限時継電器、制御電源、配線用遮断器を含む)		
			劣化	-	-	E	-	-	E			
	停止ソレノイド		作動	-	D	(D)	D	-	D			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
	計装機器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		水温スイッチ作動	-	E	M	-	-	X		
油温スイッチ作動				-	E	(E)	-	-	X			
油圧スイッチ作動				-	E	M	-	-	X			
空気圧スイッチ作動				-	E	(E)	-	-	X			
フロースイッチ作動				-	E	W (M)	-	-	X			
速度スイッチ作動				-	E	A	-	-	X			
ゲージ類 (温度、圧力、回転他)			冷却水温度計指示	-	E	(E)	E	-	E			
			潤滑油温度計指示	-	E	(E)	E	-	E			
			排気温度計指示	-	E	(E)	E	-	E	バラツキチェック		
			冷却水圧力計指示	-	E	(E)	E	-	X			
消音器・排気管	消音器		冷却水圧力計の零指針	E	E	E	-	-	X			
			潤滑油圧力計指示	-	E	(E)	E	-	X			
			潤滑油圧力計のゼロ指針	E	E	E	-	-	X			
			回転計指示	-	E	(E)	E	-	M	変動チェック		
	排気管		腐食	-	-	E	-	-	E			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			ドレン抜き	-	-	A	-	-	A			
			腐食	-	-	E	-	-	E			
			劣化	-	-	E	-	-	E			
冷却装置	ラジエータ		漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			キャップ耐圧	-	E	(E)	E	-	X	圧力キャップの場合		
			劣化	-	-	E	-	-	E			
			ホース劣化	-	-	H	-	-	X			
	清水冷却器		ファンベルト	E	E	E	-	-	X	ベルト駆動の場合		
			漏れ	-	E	(E)	E	-	W			
			腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	W			
			劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	W			
空気冷却器		防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	E				
		腐食、劣化	-	-	-	-	-	W				
その他	全般		ドレン	-	E	(E)	E	-	E			
			塗装	-	-	-	-	-	X			
特記事項												

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関) <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**主原動機(4)  
 (ディーゼル機関)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要
				月点検	目視点検					
作業準備及び組立	作業準備		アイソレーションの確認	-	-	-	-	-	E	
			弁状態の確認	-	-	-	-	-	E	
			電源の確認	-	-	-	-	-	E	
			取替部品の確認	-	-	-	-	-	E	
	分解前作業		デフレクション計測	-	-	-	-	-	M	
			水抜き確認	-	-	-	-	-	E	
			残油なしの確認	-	-	-	-	-	E	
			LO・FOタンク弁閉の確認	-	-	-	-	-	H	
	分解点検・手入れ・組立		始動空気槽元弁閉の確認	-	-	-	-	-	H	
			主軸受	-	-	-	-	-	W	代表の主軸受1ヶ所のみ
連接棒			-	-	-	-	-	W		
給・排気弁			-	-	-	-	-	W		
シリンダ安全弁			-	-	-	-	-	X		
給・排気レバー			-	-	-	-	-	W		
整備後の確認		動弁装置	-	-	-	-	-	W		
		デフレクション計測	-	-	-	-	-	M		
		オイルパン油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		LO補給タンク油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		過給機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		调速機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		動弁装置への注油	-	-	-	-	-	E		
		シリンダヘッドの異物混入確認	-	-	-	-	-	E		
		クランクケースの異物混入確認	-	-	-	-	-	E		
		継手部締付状況の確認	-	-	-	-	-	E		
整備後の運転準備		冷却水通水、エア抜き	-	-	-	-	-	A		
		FO通油、FO噴射ポンプのエア抜き	-	-	-	-	-	A		
		シリンダヘッド内の潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		カム・ピストンメタル部の潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		ターニング装置の注油	-	-	-	-	-	A		
		グリスアップ	-	-	-	-	-	A		
		ガバナーリング注油	-	-	-	-	-	A		
		始動空気槽の充気	-	-	-	-	-	A		
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	E		
		アイソレーション解除の確認	-	-	-	-	-	E		
整備後の運転		ターニングエアラン	-	-	-	-	-	A	LOプライミングポンプ運転	
		始動状況確認	-	-	-	-	-	D		
		低速摺合運転	-	-	-	-	-	D		
		摺合運転	-	-	-	-	-	D		
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	E		
		発熱状況の確認	-	-	-	-	-	H	内部点検	
		注油状況の確認	-	-	-	-	-	E	内部点検	
		ライナ摺動部状況の確認	-	-	-	-	-	E	内部点検	
各部締付の確認	-	-	-	-	-	E	内部点検			
特記事項										

点検・整備チェックシート 主原動機(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**主原動機(5)  
 (ディーゼル機関)(5)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月点検	年点検					
運 転 状 況	運転状況		音	-	S	(S)	S	-	S	
			排気色	-	E	(E)	E	-	E	
			ミストの状況	-	E	(E)	E	-	E	
			給気管ドレン抜き	-	A	(A)	A	-	A	
			冷却水管エア抜き	-	A	(A)	A	-	A	
			過給機停止所要時間	-	-	(M)	-	-	M	
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M	
			発熱	-	-	(H)	H	-	H	各ポンプ軸受部、クランクケース等
			ラック目盛	-	M	(M)	M	-	M	全シリンダ
	振動	-	H	(H)	H	-	M	高圧配管、過給機等		
	保護回路による機関の停止確認		断水	-	-	D	-	-	D	
			冷却水温	-	-	D	-	-	M	
			潤滑油圧	-	-	D	-	-	M	
	運転後の確認		過速度	-	-	D	-	-	D	単独運転にて
潤滑油ブライミングポンプ運転			-	E	E	E	-	E		
ターニングによる燃料ガスの排出			-	A	A	A	-	A	2回転またはエアラン運転後	
			クランクケース内軸受	-	-	H	H	-	M	

特記事項

点検・整備チェックシート 減速機 <待機系設備>

機 場 名：  
 点検実施  
 年 月 日：

**減速機(1)**  
 (水 冷)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増速	H	指触
D	動作確認		S	聴覚			

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検				運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検		年点検						
			目視点検	管理 運転点検								
全般	減速機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	-	E	-	-	-	異音、配管漏れなどを確認
潤滑油系統	オイルシール 潤滑油	漏れ	-	E	(E)	-	-	-	-	X		
		量(質)	E	E	E	E	-	-	X			
		圧力	-	E	(E)	E	-	-	E			
	潤滑油ポンプ	温度	-	E	(E)	E	-	-	E			
		音	-	S	(S)	-	S	-	-	S		
	潤滑油濾過器	リリーフ弁	-	-	-	-	-	-	-	W		
		本体	-	-	E	-	-	-	-	E		
内部清掃 エレメント		-	-	C	-	-	-	-	C	ペーパータイプは油交換時に交換		
冷却水系統	配管	漏れ	E	E	(E)	E	E	E	E			
		圧力	-	E	(E)	E	-	-	E			
	潤滑油冷却器	フローサイト	-	-	C	-	-	-	-	C		
		漏れ	-	E	(E)	E	-	-	W			
		腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	-	-	W		
		劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	-	-	W		
	防蝕亜鉛の消耗	-	-	E	-	-	-	-	E			
ドレン抜き	-	-	A	-	-	-	-	A	漏水の確認			
配管	漏れ	E	E	(E)	E	E	E	E				
減速機本体	据付部 歯車箱	基礎ボルト、ナット、架台	E	E	E	E	-	-	E			
		本体損傷	E	E	E	E	-	-	E			
	軸受	温度	-	H	M	H	-	-	M			
		振動	-	H	M	H	-	-	M			
		摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M		
多板クラッチ	歯車	摩耗	-	-	-	-	-	-	M			
		軸受	温度	-	H	(M)	H	-	-	M		
	クラッチ 作動油ポンプ	振動	-	H	(M)	H	-	-	M			
		摩耗	-	-	-	-	-	-	-	M		
		作動	-	D	(D)	D	-	-	D			
軸継手	リリーフ弁	リリーフ弁	-	-	-	-	-	-	W			
		本体	-	-	E	-	-	-	E			
	音	音	-	S	(S)	S	-	-	S			
		圧力	-	E	(E)	E	-	-	E			
		配管	E	E	(E)	E	E	E	E			
計装機器	軸継手	磨耗	-	-	E	-	-	-	T			
		締め具合	-	-	T	-	-	-	T			
	センサ類 (温度、圧力、流れ)	油圧スイッチ作動	-	E	E (M)	-	-	-	X	(M)は導通チェック		
		油温スイッチ作動	-	E	(E)	-	-	-	X			
		フロースイッチ作動	-	E	W (M)	-	-	-	X	(M)は導通チェック		
ゲージ類 (温度、圧力他)	温度計指示	-	-	E	-	-	-	E				
	温度計配管	-	-	E	-	-	-	E				
	圧力計指示	-	E	(E)	E	-	-	X				
	圧力計零指針	E	E	E	-	-	-	X				
その他	全般	圧力計配管	-	-	E	-	-	-	E			
		音	-	S	(S)	-	-	-	S			
		塗装	-	-	-	-	-	-	X			

特記事項

\*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。管理運転では、動作時に異音や配管漏れおよびセンサ類の動作や温度、振動などを確認する。

点検・整備チェックシート 系統機器 <待機系設備>

機 場 名：  
 点検実施  
 年 月 日：

**系統機器設備(1)**  
 (燃料系統)(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検	目視点検						
全般	燃料系統全般		動作確認 *1	-	D	-	-	D	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	-	E	-	-	
燃料貯油槽(地下タンク)	本体上部スラブ		亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)	
			崩没	-	-	E	-	E	E	(消)	
			不等沈下	-	-	E	-	E	E	(消)	
	タンク本体		漏洩の有無	-	-	E	-	E	E	(消)	
			通気管	位置固定の良否	-	-	E	-	E	E	(消)
	通気管		腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			引火防止網の脱落	-	-	E	-	E	E	(消)	
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
			目づまり	-	-	E	-	-	E	(消)	
			計量口	蓋の閉鎖状況	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験
	油面計		変形	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)機能試験	
			油量(漏れ) *2	E	E	E	E	E	E	(消)	
			取付部の緩み	-	-	T	-	T	T	(消)	
	漏洩検知管		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			土砂等の堆積	-	-	-	-	-	E	(消)	
			注入口	蓋の開閉状況	-	-	E	-	E	E	(消)
	注入口ピット		変形	-	-	E	-	E	E	(消)	
			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
亀裂			-	-	E	-	E	E	(消)		
滯油、滯水			-	-	E	-	-	E	(消)		
配管		土砂等の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		
		油種別表示の有無	-	-	E	-	-	E	(消)		
		漏洩の有無	-	-	E	-	E	E	(消)		
		変形	-	-	E	-	E	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		塗装状況	-	-	E	-	-	E	(消)		
配管用点検ボックス		腐食	-	-	E	-	-	E	(消)		
		固定の適否	-	-	E	-	E	E	(消)		
配管用バルブ		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		漏れ	-	-	E	-	E	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
配管用電気防食設備		開閉機能の適否	-	-	D	-	E	D	(消)		
		端子箱の損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		土砂の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)		
		端子の緩み	-	-	E	-	E	E	(消)		
接地		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		結合部の緩み	-	-	E	-	-	E	(消)		
		接地抵抗値の適否	-	-	M	-	-	M	(消)		
標識表示板		記載事項の適否	-	-	E	-	-	E	(消)		
		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)		
		汚損	-	-	E	-	E	E	(消)		
消火器		位置	-	-	E	-	-	E			
		設置数	-	-	E	-	-	E			
		外観的機能の適否	-	-	E	-	E	E			

特記事項  
 \*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には油量や漏れなどの確認を実施する。  
 \*2 燃料貯油槽については日常量の記録を要する。 \*3 屋外・屋内タンクは地下タンクに準ずる。

点検・整備チェックシート 系統機器 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**系統機器設備(2)**  
 (燃料系統)(2)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	年点検						
燃料小出槽	本体		ドレン抜き	-	-	A	-	-	A		
			漏れ	E	E	E	E	E	E		
			腐食	-	-	E	-	-	E		
			油量	E	E	E	E	E	E		
			内部清掃	-	-	-	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	X		
	油面計			取付部の緩み	-	-	T	-	T	T	
				損傷	-	-	E	-	E	E	
				汚れ	-	-	-	-	-	C	
				指示状況	E	E	E	E	-	E	
配管・弁			漏れ	-	-	E	-	E	E	(消)	
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
			劣化	-	-	E	-	-	E	(消)	
			塗装	-	-	E	-	-	X	(消)	
燃料移送ポンプ	ポンプ・電動機 (軸継手、接地を含む)		ケーシング内注油	-	-	-	-	-	A		
			漏れ	-	E	E	E	E	E	(消)	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	(消)	
			音	-	S	(S)	S	-	S	(消)	
			軸受温度	-	-	(H)	-	-	M		
			圧力計	-	E	(E)	E	-	X	(消)	
			吐出量	-	-	E	-	-	E		
			回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	H		
			固定ボルトの腐食及び緩み	-	-	E	-	-	E	(消)	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自盤にて測定)	
			腐食	-	-	E	-	-	E	(消)	
			塗装	-	-	E	-	-	X	(消)	
			全般	-	E	E	E	-	W	(消)	
			軸継手締め具合	-	-	T	-	-	T		
			軸継手カップリングゴムの摩耗	-	-	E	-	-	M		
			接地線の断線有無	-	-	E	-	E	E	(消)	
			接地取付部の緩み等の有無	-	-	T	-	T	T	(消)	
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(消)				
囲い・床・ためます・油分離槽			損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			亀裂	-	-	E	-	E	E	(消)	
			滞水、滞油	-	-	E	-	-	E	(消)	
			土砂堆積	-	-	E	-	-	E	(消)	
建築及び付属設備			屋根・壁・床・防火戸等損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			換気・排気設備の損傷	-	-	(E)	-	E	E	(消)	
			機能の適否								
その他	防油堤		損傷	-	-	E	-	E	E	(消)	
			滞水、滞油	-	-	E	-	-	E	(消)	
			土砂の堆積	-	-	E	-	-	E	(消)	

特記事項



点検・整備チェックシート 系統機器 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**系統機器設備(3)**  
 (冷却水系統)(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	目視点検						管理 運転点検	
全般	冷却水系統全般		動作確認 *1	-	D	-	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	-	E	-	-		
管内クーラ	全般		異物のつまり	-	-	E	-	-	-	E		
			漏れ	-	E	(E)	-	E	E	E		
			伝熱管腐食	-	-	-	-	-	-	-	E	
			伝熱管劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	-	-	E	
			伝熱管清掃	-	-	-	-	-	-	-	O	
			塗装	-	-	-	-	-	-	-	X	
クーリングタワー	本体		汚れ	-	-	C	-	-	-	O		
			ボールタップ	-	-	C	-	-	-	-	X	
	配管・弁		漏れ	-	-	E	-	-	E	E		
			腐食	-	-	E	-	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	-	X		
電動機		音	-	S	(S)	-	S	-	S			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定		
		振動	-	H	(H)	-	H	-	H			
水槽類	本体		塗装	-	-	E	-	-	-	X		
			腐食	-	-	E	-	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	-	E		
			汚れ	-	-	-	-	-	-	-	O	
	ドレン抜き	-	-	A	-	-	-	-	A			
	液面計		取付部の緩み	-	-	T	-	-	T	T		
損傷			-	-	E	-	-	-	E			
汚れ			-	-	C	-	-	-	-	C		
指示状況			E	E	E	-	E	-	E			
水中ポンプ	ポンプ・電動機		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定	
			メカニカルシールの摩耗	-	-	-	-	-	-	-	X	
			締切圧力	-	-	(E)	-	-	-	-	E	
			塗装	-	-	-	-	-	-	-	X	
	配管・弁		水中ケーブルの劣化	-	-	-	-	-	-	X		
			漏れ	-	-	E	-	-	-	E		
立軸ポンプ	ポンプ・電動機 (軸継手を含む)		腐食	-	-	E	-	-	-	E		
			劣化	-	-	E	-	-	-	E		
			塗装	-	-	E	-	-	-	-	X	
			吸込水槽水位の確認	E	E	E	-	E	-	E		
			潤滑油量	E	E	E	-	E	-	X		
			振動	-	H	(H)	-	H	-	H		
			音	-	S	(S)	-	S	-	S		
			軸受温度	-	H	(H)	-	H	-	M		
			グランド温度	-	H	(H)	-	-	-	X		
			締切圧力	-	-	(E)	-	-	-	E		
	回転の滑らかさ	-	H	H	-	-	-	H	(自)盤にて測定			
	配管・弁		絶縁抵抗	-	-	-	-	-	-	M		
			全般	E	E	E	-	E	-	W		
			軸継手締り具合	-	-	T	-	-	-	-	T	
軸継手カップリングゴムの摩耗			-	-	E	-	-	-	-	M		
計器		漏れ	-	-	E	-	-	E	E			
		腐食	-	-	E	-	-	-	E			
		劣化	-	-	E	-	-	-	E			
		塗装	-	-	E	-	-	-	-	X		
その他		圧力計	-	-	E	-	-	-	X			
		吸込水槽水位の確認	E	E	E	-	E	-	E			

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 系統機器 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**系統機器設備(5)**  
 (始動空気系統)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検	年点検					
全般	始動空気系統全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	
空気圧縮機	圧縮機・電動機 (エンジンを含む)		潤滑油量 *2	E	E	E	E	-	X	
			冷却水	E	E	E	E	-	E	水冷の場合
			フィルタ	-	-	C	-	-	X	
			Vベルト	-	-	A	-	-	X	
			アンローダ弁	-	D	A	D	-	X	
			安全弁	-	-	A	-	-	A	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
			圧力	-	E	(E)	E	-	E	
			充填時間	-	-	M	-	-	M	
			自動ON-OFF圧カスイッチ	-	-	E	E	-	X	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自) 盤にて測定
			全般	E	E	E	E	-	W	
			計器	圧力計	-	-	E	-	-	X
配管・弁		漏れ	-	-	E	-	E			
		腐食	-	-	E	-	E			
		劣化	-	-	E	-	E			
		塗装	-	-	E	-	X			
始動空気槽	本体	漏れ	-	-	E	-	E			
		腐食	-	-	E	-	E			
		塗装	-	-	E	-	X			
		ドレン抜き	-	A	A	A	-	A		
		損傷	-	-	E	E	-	X	(労)	
		ふたの締付ボルトの磨耗	-	-	E	-	-	E	(労)	
計器	圧力計	E	E	E	-	-	X			
	圧カスイッチ	-	E	(M)	-	-	X			
配管・弁		漏れ	-	-	E	-	E			
		損傷	-	-	E	-	E	(労)		
		腐食	-	-	E	-	E			
		塗装	-	-	E	-	X			

特記事項

- \*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には潤滑油量などの確認を実施する。
- \*2 2年毎に交換。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(自家発電機盤) <待機系設備>

機 場 名：  
点検実施  
年 月 日：

**自家発電設備(1)**  
(自家発電機盤)

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要		
				月点検	年点検						
全 般	自家発電機盤全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-		
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-		
自 家 発 電 機 盤	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物、変色	E	E	E	-	E	E		
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E		
			端子 端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
			端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E		
	操作スイッチ		動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
	指示計		動作確認(零点及び指示)	-	E	A	(2年毎)	E	-	A	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	A	
	表示器・表示灯		点灯状態	-	E	(E)	E	E	E	E	(自)
			取付状態、汚損	-	-	E	-	-	-	E	
	保護装置		保護リレーの動作	-	-	D	(2年毎)	-	-	D	(自)
			警報装置の異常	-	E	E	-	-	E	E	(自)
			センサの動作	-	-	D	-	-	-	D	
	遮断器		遮断器の汚損、発錆	E	E	E	-	E	E	E	(自)
碍子ひび割れ(外部)			E	E	E	-	E	E	E	(自)	
遮断器の油洩れ(外部)			E	E	E	-	E	E	E	(自)油入りの場合	
接触子の接触面状態			-	-	E	-	-	-	E	(自)	
油量、油の汚れ			-	-	E	-	-	-	E	(自)油入りの場合	
遮断動作速度			-	-	M	(3年毎)	-	-	M	(自)	
絶縁油耐圧			-	-	-	-	-	-	M	(自)油入りの場合	
真空度	-	-	-	-	-	-	M	(自)真空式の場合			
配線・漏電用遮断器		開閉動作	-	-	(D)	-	D	D	(自)		
計器用変成器		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E	E	(自)	
		過熱	-	H	H	-	H	H	H	(自)	
		音響	-	S	S	-	S	S	S		
AVR		設定器・リレー等	-	-	(D)	-	-	D	(自)		
全般		接触部の確認	-	-	(D)	-	-	D	(自)		
全般		動作試験	-	D	(D)	-	-	-	(自)		

特記事項

管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には取付状態や汚損などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**自家発電設備(2)  
 (ディーゼル機関)(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検					
全 般	ディーゼル機関全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	異音、漏れ、センサ動作などを確認
				-	S	-	S	-	-	
機 関 本 体 関 係	台板 シリンダヘッド		締まり具合、損傷	E	E	E	E	-	-	
			ヘッドガスケットの劣化	-	-	-	-	-	X	
			弁の摩耗パネのへたり タペットの間隙	-	-	-	-	-	-	W
	クランク室		シリンダライナの摩耗	-	-	-	-	-	M	(連結棒本体、歯車、ピストンブッシュを含む)
			コンロッドメタルの摩耗	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトの摩耗	-	-	-	-	-	M	
			クランクシャフトメタルの摩耗	-	-	-	-	-	M	
			ボルトの緩み	-	-	T	-	-	T	
			カム軸の摩耗	-	-	-	-	-	M	
	過給機		フィルタの状況	-	-	E	-	-	X	
			振動	-	H	(H)	H	-	H	
			音	-	S	(S)	S	-	S	
			油量 *2	E	E	E	E	-	X	油ダメ付のみ
	ピストン		本体	-	-	-	-	-	W	
			ピストンの摩耗 ピストンリング摩耗	-	-	-	-	-	M	(ピストンピン、排気弁装置部、排気弁本体含む)
调速機		調整	-	-	-	-	-	W	(ガバナパネ、速度設定ハンドル、軸受け、潤滑油、燃料ラック、駆動歯車を含む)	
外 部 軸 受		油量	E	E	E	E	-	X	(フライホイール含む)	
		振動	-	H	(H)	H	-	M		
		温度	-	H	(H)	H	-	M		
		摩耗	-	-	-	-	-	M		
遠 心 ク ラ ッ チ		動作確認	-	E	(E)	E	-	E		
		油量	E	E	E	E	-	X	給油式の場合	
		磨耗	-	-	-	-	-	M		
内 部 潤 滑 油 ポ ン プ		振動	-	H	(H)	H	-	H	(潤滑油系統含む)	
		作動	-	S	(S)	S	-	W		
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E		
初 期 潤 滑 油 ポ ン プ		作動	-	S	(S)	S	-	W	(圧力調整弁、電動機含む)	
		配管漏れ	E	E	E	E	E	E		
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M		
機 関 オ イ ル バ ン		振動	-	H	(H)	H	-	H	油交換時はタンク内清掃のこと	
		オイルパン油量 *2	E	E	E	E	-	X		
		オイルパン内腐食 性状分析	-	-	-	-	-	E		M
潤 滑 油 濾 過 器		内部清掃	-	-	C	-	-	C		
		エレメント	-	-	-	-	-	X	ベーパータイプは油交換時に交換	
ク ラ ン ク 軸		固着(ターニング)	-	D	-	-	-	-	(歯車、軸受けを含む)	
潤 滑 油 冷 却 器		漏れ	E	E	(E)	E	-	W		
		腐食(エレメント)	-	-	-	-	-	W		
		劣化(エレメント)	-	-	-	-	-	W		
		防蝕亜鉛の消耗 ドレン	-	-	E	-	-	E	A	漏水の確認

特記事項  
 \*1 全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、動作時に振動や異音および油漏れやセンサ類の動作などを確認する。また、管理運転前後には油量や配管漏れなどの確認を実施する。  
 \*2 2年毎に交換。

点検整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名 : \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日 : \_\_\_\_\_

**自家発電設備(3)  
 (ディーゼル機関)(2)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要		
				月点検	目視点検							
燃料系	燃料噴射ポンプ		ラックの動作、継手	-	H	H	H	-	H	(空気混入、タペット、カム軸、燃料ラック、吸気弁本体を含む)		
			エア抜き	-	-	A	-	-	A			
			ブランジャ・吐出し弁劣化	-	-	-	-	-	W			
			漏れ	E	E	(E)	E	-	E			
			油量 * 1	E	E	E	E	-	X	油ダメ付のみ		
			異物混入	-	-	E	-	-	-			
			突始め調整ボルト緩み	-	-	T	E	-	T			
	噴射時期	-	-	M	-	-	M					
	燃料濾過器		内部清掃	-	-	C	-	-	-	水分チェック		
			エア抜き	-	-	A	-	-	A			
			エレメント	-	-	E	-	-	X	付着物点検、ペーパータイプは2年毎に交換		
	燃料弁		噴霧テスト	-	-	A	-	-	A	噴口詰り、後タレチェック		
			摩耗	-	-	-	-	-	W			
	高圧管		漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
管内エア抜き			-	-	A	-	-	A				
漏れ(亀裂)			-	E	(E)	E	E	X				
燃料供給ポンプ配管		振動	-	H	(H)	H	-	H				
		摩耗	-	-	-	-	-	W				
		腐食	-	-	E	-	-	E				
		漏れ	E	E	(E)	E	E	E				
冷却水系	内部冷却水ポンプ		振動	-	H	(H)	H	-	H			
			摩耗、劣化	-	-	-	-	-	W			
			配管漏れ	E	E	(E)	E	E	E			
			配管腐食	-	-	-	-	-	W			
			配管振動	-	H	(H)	H	-	H			
			バルブ開閉	-	-	E	E	-	E			
			バルブ劣化	-	-	-	-	-	W			
	空気抜き	E	E	(E)	E	-	E					
	温調弁		作動	-	E	(E)	E	-	W			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
空気系	分配弁・塞止弁・操縦弁		水質検査 * 2	-	-	-	-	-	M			
			作動	-	E	(E)	E	-	W			
			漏れ	-	E	(E)	E	-	E			
			配管劣化	-	-	E	-	-	E			
			配管漏れ	-	E	(E)	E	E	E			
	配管腐食	-	-	E	-	-	E					
電動系	電磁弁・減圧弁		作動	-	E	(E)	E	-	X	30k用電磁弁は年点検で分解		
			劣化	-	-	E	-	-	X			
			エア漏れ	-	E	(E)	E	-	X			
始動系	始動弁		エア漏れ * 3	-	H	(H)	H	-	H	始動15分後接続配管にて		
			作動確認	-	-	W	-	-	W	機関装着後弁棒動き確認		
			TPO始動(エアラン)	-	-	D	-	-	D	全シリンダ		
停止用エアピストン			作動	-	D	W	D	-	W			
			空気漏れ	-	E	(E)	E	-	E			

特記事項  
 \* 1 2年毎に交換。  
 \* 2 不凍液、腐食防止剤を使用している場合の濃度管理は1年毎。  
 \* 3 高温変色している場合は火傷に注意すること。

点検 整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**自家発電設備(4)  
 (ディーゼル機関)(3)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検				運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検		年点検						
			目視点検	管理運転点検								
電気始動系統	セルモータ		ブラシの状態	-	-	E		-	-	X		
			作動	-	E	(E)		E	-	W		
			劣化	-	-	E		-	-	E		
	予熱栓		作動	-	E	(E)		-	-	X	付属の場合	
			劣化	-	E	E		-	-	X	付属の場合	
	電磁スイッチ		作動	-	E	(E)		E	-	W	(ケーブル、切替開閉器、操作開閉器、補助継電器、限時継電器、制御電源、配線用遮断器を含む)	
劣化			-	-	E		-	-	E			
停止ソレノイド		作動	-	D	(D)		D	-	D			
		劣化	-	-	E		-	-	E			
計装機器	センサ類 (温度、圧力、流れ)		水温スイッチ作動	-	E	M		-	-	X		
			油温スイッチ作動	-	E	(E)		-	-	X		
			油圧スイッチ作動	-	E	M		-	-	X		
			空気圧スイッチ作動	-	E	(E)		-	-	X		
			フロースイッチ作動	-	E	W (M)		-	-	X		
			速度スイッチ作動	-	E	A		-	-	X		
ゲージ類 (温度、圧力、回転他)			冷却水温度計指示	-	E	(E)		E	-	E		
			潤滑油温度計指示	-	E	(E)		E	-	E		
			排気温度計指示	-	E	(E)		E	-	E	バラツキチェック	
			冷却水圧力計指示	-	E	(E)		E	-	X		
			冷却水圧力計の零指針	E	E	E		-	-	X		
			潤滑油圧力計指示	-	E	(E)		E	-	X		
消音器・排気管	消音器		腐食	-	-	E		-	-	E		
			劣化	-	-	E		-	-	E		
			漏れ	-	E	(E)		E	-	E		
	排気管		ドレン抜き	-	-	A		-	-	A		
			腐食	-	-	E		-	-	E		
			劣化	-	-	E		-	-	E		
冷却装置	ラジエータ		水量	E	E	E		E	-	E		
			漏れ	-	E	E		E	-	E		
			キャップ耐圧	-	E	(E)		E	-	X	圧力キャップの場合	
	清水冷却器		劣化	-	-	E		-	-	E		
			ホース劣化	-	-	H		-	-	X		
			ファンベルト	E	E	E		-	-	X	ベルト駆動の場合	
空気冷却器		漏れ	-	E	(E)		E	-	W			
		腐食(エレメント)	-	-	-		-	-	W			
		劣化(エレメント)	-	-	-		-	-	W			
全般		防蝕亜鉛の消耗	-	-	E		-	-	E			
		腐食、劣化	-	-	-		-	-	W			
その他		ドレン	-	E	(E)		E	-	E			
		塗装	-	-	-		-	-	X			
特記事項												

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**自家発電設備(5)  
 (ディーゼル機関)(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定 期 点 検		年点検	運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	目視点検					
作業準備及び組立	作業準備		アイソレーションの確認	-	-	-	-	-	E	
			弁状態の確認	-	-	-	-	-	E	
			電源の確認	-	-	-	-	-	E	
			取替部品の確認	-	-	-	-	-	E	
	分解前作業		デフレクション計測	-	-	-	-	-	M	
			水抜き確認	-	-	-	-	-	E	
			残油なしの確認	-	-	-	-	-	E	
			LO・FOタンク弁閉の確認	-	-	-	-	-	H	
	分解点検・手入れ・組立		始動空気槽元弁閉の確認	-	-	-	-	-	H	
			主軸受	-	-	-	-	-	W	代表の主軸受1ヶ所のみ
			連接棒	-	-	-	-	-	W	
			給・排気弁	-	-	-	-	-	W	
シリンダ安全弁			-	-	-	-	-	X		
給・排気レバー			-	-	-	-	-	W		
動弁装置			-	-	-	-	-	W		
整備後の確認		デフレクション計測	-	-	-	-	-	M		
		オイルパン油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		LO補給タンク油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		過給機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		調速機潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		動弁装置への注油	-	-	-	-	-	E		
		シリンダヘッドの異物混入確認	-	-	-	-	-	E		
		クランクケースの異物混入確認	-	-	-	-	-	E		
		継手部締付状況の確認	-	-	-	-	-	E		
		冷却水通水、エア抜き	-	-	-	-	-	A		
整備後の運転準備		FO通油、FO噴射ポンプのエア抜き	-	-	-	-	-	A		
		シリンダヘッド内の潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		カム・ピストンメタル部の潤滑油量の確認	-	-	-	-	-	E		
		ターニング装置の注油	-	-	-	-	-	A		
		グリスアップ	-	-	-	-	-	A		
		ガバナーリング注油	-	-	-	-	-	A		
		始動空気槽の充気	-	-	-	-	-	A		
		各部漏れなしの確認	-	-	-	-	-	E		
		アイソレーション解除の確認	-	-	-	-	-	E		
		整備後の運転		ターニングエアラン	-	-	-	-	-	A
始動状況確認	-			-	-	-	-	D		
低速摺合運転	-			-	-	-	-	D		
摺合運転	-			-	-	-	-	D		
各部漏れなしの確認	-			-	-	-	-	E		
発熱状況の確認	-			-	-	-	-	H	内部点検	
注油状況の確認	-			-	-	-	-	E	内部点検	
ライナ摺動部状況の確認	-			-	-	-	-	E	内部点検	
各部締付の確認	-	-	-	-	-	E	内部点検			
特記事項										

点検・整備チェックシート 自家発電設備(ディーゼル機関)〈待機系設備〉

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**自家発電設備(6)  
 (ディーゼル機関)(5)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認		S				聴覚

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				月点検	年点検	目視点検				
運 転 状 況	運転状況		音	-	S	(S)	S	-	S	
			排気色	-	E	(E)	E	-	E	
			ミストの状況	-	E	(E)	E	-	E	
			給気管ドレン抜き	-	A	(A)	A	-	A	
			冷却水管エア抜き	-	A	(A)	A	-	A	
			過給機停止所要時間	-	-	(M)	-	-	M	
			燃料消費量	-	-	-	-	-	M	
			発熱	-	-	(H)	H	-	H	各ポンプ軸受部、 クランクケース等
			ラック目盛	-	M	(M)	M	-	M	全シリンダ
	振動	-	H	(H)	H	-	M	高圧配管、過給機等		
	保護回路による機関の 停止確認		断水	-	-	D	-	-	D	
			冷却水温	-	-	D	-	-	M	
			潤滑油圧	-	-	D	-	-	M	
運転後の確認		過速度	-	-	D	-	-	D	単独運転にて	
		潤滑油ブライミングポンプ運転	-	E	E	E	-	E		
		ターニングによる燃料ガスの 排出	-	A	A	A	-	A	2回転またはエアラン運転後	
			クランクケース内軸受	-	-	H	H	-	M	

特記事項



点検・整備チェックシート 自家発電設備(発電機) <待機系設備>

機 場 名：  
点検実施  
年 月 日：

**自家発電設備(11)**  
(発電機)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備									
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検				運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検		年点検						
			目視点検	管理 運転点検								
全般	発電機全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	-	E	-	-	-	異音、温度、振動などを確認
発電機	発電機本体		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)盤にて測定	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	-	M	(自)	
			音	-	S	(S)	-	-	-	S	(自)	
			固定子劣化	-	-	-	-	-	-	W	(自)	
			回転子劣化	-	-	-	-	-	-	W	(自)	
			通風装置	-	-	-	-	-	-	W	(自)	
			フレーム・ブラケット各部の変形、錆の有無	E	E	E	-	-	-	E	(自)	
			カップリング・基礎締付	E	E	E	-	-	-	E	(自)	
			ボルトの緩み	E	E	E	-	-	-	E	(自)	
			保護カバー通風口の状態	E	E	E	-	-	-	E	(自)	
			塵埃、油等の付着の有無	E	E	E	-	-	-	E	(自)	
			絶縁診断	-	-	-	-	-	-	M	(自)3KV以上の発電機	
		電機	センサ類		温度スイッチ	-	-	D	-	-	-	X
			温度計等付属品の取付状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)	
機	軸受		温度	-	H	(M)	-	-	-	M	(自)	
			振動	-	H	(H)	-	-	-	H	(自)	
			油量	E	E	E	-	-	-	X		
			摩耗	-	-	-	-	-	-	M		
	ブラシ		摩耗	E	E	E	-	-	-	X	(自)	
			押しバネの状態	-	-	H	-	-	-	H		
スリップリング		火花の状況	-	E	E	-	-	-	E			
		摩耗	E	E	E	-	-	-	X	(自)		
		荒れ	E	E	E	-	-	-	E			
端子		汚れ	E	E	C	-	-	-	C			
		口出線の劣化、汚損、損傷の有無	-	-	E	-	-	-	E	(自)		
		端子箱・保護カバーの取付状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)		
その他	全般		接続部・ケーブルヘッド絶縁処理の状態	-	-	E	-	-	-	E	(自)	
			塗装	-	-	-	-	-	-	X		

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。その内容は網掛け部に示すものである。  
管理運転では、動作時に異音やブラシの火花の状態や温度、振動などを確認する。また、管理運転前後には油量やブラシの摩耗量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 電源設備<待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**電源設備(5)**  
 (低圧受変電)(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備							
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検	年点検					
全般	電源設備全般		動作確認 *1	-	D	-	D	-	-	-
			損傷の有無 *1	-	E	-	E	-	-	-
受電部	引込柱		汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E	
			傾斜	-	-	E	-	E	E	
			腕金発錆、変形、腐食	-	-	E	-	E	E	
			碍子の汚損、ひび割れ	-	-	E	-	E	E	
			玉碍子の破損	-	-	E	-	E	E	
			支持クリップの脱落	-	-	E	-	E	E	
			支持の緩み	-	-	H	-	H	H	
電線部	電線・支持物		電線の高さ及び他工作物と樹木との離隔距離	-	-	E	-	E	E	(自)
			標識・保護柵の状況	-	-	E	-	E	E	(自)
			支線グリップの脱落	-	-	E	-	E	E	(自)
			電柱・腕木・碍子・支線保護柵等の損傷、腐食	-	-	E	-	E	E	(自)
			電線の碍子捕縛状況	-	-	E	-	E	E	(自)
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
			露出部の腐食、亀裂、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)
ケーブル			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
配電設備	低圧配電盤(共通)		盤面の状態	-	-	E	-	E	E	
			扉の閉閉施錠	-	-	H	-	H	H	
			メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)
			メータの汚れ	-	-	E	-	-	E	
			表示灯点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)
			計器・切換開閉器	E	E	E	-	-	E	(自)
			操作機構	-	D	D	-	D	D	(自)
			配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)
			主回路導体の状態	E	E	E	-	E	E	
			配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)
			ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E	
			警報装置の異常	-	-	E	-	-	E	(自)
			接続部	-	-	T	-	E	T	
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)
接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
保護継電器の動作	-	-	D (2年毎)	-	-	D	(自)			
計器校正	-	-	A (2年毎)	-	-	A	(自)			

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、動作時に正常に状態表示されることなどを確認する。また、管理運転前後には汚損や劣化状態などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 電源設備<待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**電源設備(6)**  
 (低圧受変電) (2)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				月点検	目視点検						管理運転点検
直 流 電 源 設 備	盤面		発錆、汚損	-	-	E	-	E	E		
			扉の開閉、施錠	-	-	H	-	H	H		
	盤内		汚損、異物	E	E	E	-	E	E		
			温度、湿度	-	-	(M)	-	M	M		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
	盤内器具		取付状態	-	-	E	E	E	E		
			配線状態	-	-	E	E	E	E		
			端子・端子台の状態	-	-	E	-	E	E		
	操作スイッチ		端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E		
			動作確認	-	H	(H)	H	-	H	(自)	
	指示計		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			動作確認(零点及び指示)	-	E	A	(2年毎)	E	-	A	(自)
	表示器・表示灯		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)	
	保護装置		取付状態、汚損	-	-	E	-	-	E		
			保護リレーの動作	-	-	D	(2年毎)	-	-	D	(自)
			警報装置の異常	-	E	E	-	-	E	E	(自)
	蓄電池		センサの動作チェック	-	-	D	-	-	D		
			端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の汚損、脱落	E	E	E	-	E	E	(自)	
セパレータの破損			-	-	-	-	-	-	-		
均等充電			-	A	A	-	-	A		均等充電実施	
支持台の腐食、損傷、耐酸塗装のはくり			-	-	E	-	E	E	(自)		
蓄電池比重、液面、端子電圧			-	M	M	-	-	M	(自)代表電池		
充電装置ヒューズ			-	E	E	-	-	E	(自)		
部屋床面の腐食、損傷			-	-	E	-	-	E	(自)		
無 停 電 源 設 備	無停電電源盤	充電装置の動作	-	-	D	-	-	D	(自)		
		電解コンデンサ	-	-	E	E	E	X			
		変圧器、リアクトル外観	-	-	E	E	E	E			
		冷却ファン振動	-	-	E	E	E	E			
		盤面の状態	-	-	E	-	E	E			
		扉の開閉施錠	-	-	H	-	H	H			
		メータの零点	E	E	A	E	-	A	(自)		
		メータの汚れ	-	-	E	-	-	E			
		表示灯点灯状態	E	E	(E)	E	E	E	(自)		
		配線取付状態	-	-	E	E	E	E	(自)		
		主回路導体の状態	E	E	E	-	E	E			
		配線端子符号の脱落	-	-	E	-	-	E	(自)		
		ケーブル端子の状態	-	-	E	-	E	E			
		接続部	-	-	T	-	E	T			
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)		
保護回路、警報回路の動作	-	-	D	-	-	D	(自)				
計器校正	-	-	A	(2年毎)	-	-	A	(自)			
蓄電池		端子の汚損、緩み、蓄電池液面、沈殿物、極板の損傷、脱落	E	E	E	-	E	E	(自)		
		セパレータの破損	-	-	-	-	-	-			
		均等充電	-	A	A	-	-	A			
		支持台の腐食、損傷	-	-	E	-	E	E	(自)		
		耐酸塗装のはくり	-	-	-	-	-	-			
蓄電池比重、液面、端子電圧	-	M	M	-	-	M	(自)				
電解液にごり	E	E	E	-	E	E					
特記事項											

点検・整備チェックシート 除塵設備 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

除塵設備(1)

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				目視点検	管理運転点検						
スクリーン	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	腐食、変形などを確認
	スクリーン		塗装	E	E	E	-	-	X		
			腐食	E	E	E	-	-	E		
			変形	E	E	E	E	E	E		
除塵機	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *2	-	E	-	E	-	-	-	温度、振動、異音などを確認
	減速機		潤滑油量	E	E	E	-	-	X		
			油漏れ	E	E	E	-	-	E		
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M		
			振動	-	H	(H)	H	-	M		
	電動機		フレーム温度	-	H	(H)	H	-	M		
			軸受温度	-	H	(H)	H	-	M		
			振動	-	H	(M)	H	-	M		
			絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M		(自)
			接地抵抗	-	-	M	-	-	M		(自)
			電流値	-	E	(E)	E	-	E		
			運転音	-	S	(S)	S	-	S		
	伝導チェーン・スプロット		給油	E	E	E	-	-	A		
			摩耗	-	-	E	-	-	M		
		伸び	-	-	A	-	-	A			
		屈曲	-	-	E	-	-	E			
		損傷	-	-	E	-	-	E			
粉体継手		起動時スリップ	-	E	(E)	-	-	E			
		温度	-	H	(H)	H	-	M			
		振動	-	H	(H)	H	-	M			
流体継手		作動油	E	E	E	-	-	X			
		油漏れ	E	E	(E)	-	-	E			
		温度	-	H	(H)	H	-	M			
		振動	-	H	(H)	H	-	M			
巻上ワイヤ		変形	E	E	E	-	-	E			
		摩耗	-	-	E	-	-	M			
		損傷	-	-	E	-	-	E			
チェーン・スプロケット		伸び	-	-	A	-	-	A			
		摩耗	-	-	E	-	-	M			
		損傷	-	-	E	-	-	E			
スクリューテークアップ		作動	-	-	E	-	-	E			
		腐食	-	-	E	-	-	E			
レーキ及びローラ		変形	E	E	E	-	-	E			
		摩耗	-	-	E	-	-	M			
レーキ開閉機構		開閉状況	-	E	(E)	-	-	E			

特記事項  
 \*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転前後に腐食や変形などの確認を実施する。  
 \*2 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、動作時に異音や振動、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量やレーキ類の変形などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 除塵設備 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施 \_\_\_\_\_  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**除塵設備(2)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置 区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検			運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要
				目視点検	管理 運転点検	年点検				
除	パワーシリンダ		作動	-	E	(E)	-	-	E	
			油漏れ	-	-	(E)	-	-	E	
	油圧ユニット		作動油	E	E	E	-	-	X	
			油圧	-	E	(E)	E	-	E	
			油圧ポンプ	-	E	(E)	E	-	E	
油圧計	-	-	(E)	-	-	X				
塵	シャーペン		錆	-	-	E	-	-	X	
	リミットスイッチ		作動	-	E	(D)	-	-	X	
機	集中給油装置		グリース	E	E	E	-	-	X	
			作動	-	E	(E)	-	-	E	
	ワイパー		漏れ	E	E	(E)	-	-	E	
			作動	-	E	(E)	-	-	X	
フレーム及び盲板		腐食、変形、欠損状態	E	E	E	E	-	E		
その他構造材		腐食、変形、欠損状態	E	E	E	E	-	E		
その他		塗装	-	-	E	-	-	X		

特記事項

点検・整備チェックシート 除塵設備 <待機系設備>

機 場 名：  
 点検実施  
 年 月 日：

**除塵設備(3)**

点検方法					判定基準				
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視	○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触	△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
D	動作確認		S	聴覚				×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	月点検		年点検	運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要	
				目視点検	管理運転点検						
搬送設備	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	温度、振動、異音などを確認
	減速機		潤滑油量	E	E	E	—	—	X		
			油漏れ	E	E	(E)	—	—	E		
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	M		
			振動	—	H	(H)	H	—	M		
	電動機		フレーム温度	—	H	(H)	H	—	M		
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	M		
			振動	—	H	(H)	H	—	M		
			絶縁抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			接地抵抗	—	—	M	—	—	M	(自)	
			電流値	—	E	(E)	E	—	E		
			運転音	—	S	(S)	S	—	S		
	伝導チェーン・スプロット		給油	E	E	E	—	—	A		
			摩耗	—	—	E	—	—	M		
			伸び	—	—	A	—	—	A		
			屈曲	—	—	E	—	—	E		
			損傷	—	—	E	—	—	E		
	フレームベルト		変形	—	—	E	—	E	E		
			伸び	—	—	A	—	—	A		
			摩耗	—	—	E	—	—	E		
			損傷	—	—	E	—	—	E		
	各ブリー・軸受		回転状況	—	E	(E)	E	—	E		
			汚れ付着	E	E	E	E	—	E		
			摩耗	—	—	E	—	—	E		
			軸受温度	—	H	(H)	H	—	H		
			腐食	—	—	E	—	—	E		
			変形	—	—	E	—	—	E		
			給油	—	—	E	—	—	E		
	各ローラ・軸受		回転状況	—	E	(E)	E	—	E		
			汚れ付着	E	E	E	E	—	E		
		腐食	—	—	E	—	—	E			
		摩耗	—	—	E	—	—	E			
		劣化	—	—	E	—	—	E			
ベルトクリーナ		接触状況	—	E	(E)	—	—	E			
		変形	—	—	E	—	—	E			
		作動	—	E	(E)	—	—	E			
スカートゴム		劣化	—	—	E	—	—	E			
		作動	—	—	E	—	—	E			
スクリュウテークアップ		腐食	—	—	E	—	—	E			
		変形	—	—	E	—	—	E			
カバー		腐食	—	—	E	—	—	E			
		塗装	—	—	E	—	—	X			
その他		総合作動確認	—	D	(D)	D	—	D			

特記事項  
 \*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、動作時に異音や振動、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 除塵設備 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**除塵設備(4)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備								
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘 要		
				月点検	年点検						
貯留設備	全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	—	E	—	E	—	—	—	温度、振動、異音などを確認
				—	S	—	S	—	—	—	
	ホッパ		変形 腐食	—	—	E	—	E	E		
				—	—	E	—	—	E		
	カットゲート		給油 作動 変形	—	—	A	—	—	A		
				—	E	(E)	—	—	E		
				E	E	E	—	—	E		
	パワーシリンダ		作動 油漏れ	—	E	(E)	—	—	E		
				—	—	(E)	—	—	E		
	油圧ユニット		作動油 油圧 油圧ポンプ 油圧計	—	E	E	—	—	X		
				—	E	(E)	E	—	E		
				—	E	(E)	E	—	E		
				—	—	(E)	—	—	X		
	電動機		フレーム温度 軸受温度 振動 絶縁抵抗 接地抵抗 電流値 運転音	—	H	(H)	—	—	M		
				—	H	(H)	—	—	M		
				—	H	(H)	—	—	M		
				—	—	M	—	—	M	(自)	
				—	—	M	—	—	M	(自)	
				—	—	E	—	—	E		
				—	S	(S)	S	—	S		
その他		塗装	—	—	E	—	—	X			
			—	—	E	—	—	X			
操作制御設備	全般		動作確認 *2 損傷の有無 *2	—	D	—	D	—	—		
				—	E	—	E	—	—		
	機側操作盤		単独の作動確認 動作表示の確認 故障表示の確認 絶縁抵抗 接地抵抗 タイマの動作確認 タイマの設定値	—	D	(D)	—	—	D		
				—	E	(E)	—	E	E		
				E	E	E	—	E	E		
				—	—	M	—	—	M	(自)	
				—	—	M	—	—	M	(自)	
				—	E	M	—	—	M		
—	—	E	—	—	E						

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。  
 \*2 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、操作することで正常に動作することを確認する。また、管理運転前後には表示などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート 付属設備 <待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

付属設備

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、早急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備							
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要	
				月 点 検	年 点 検					
				目視点検	管理 運転点検					
角 落 し 設 備	角落し設備		保管状況	-	-	E	-	-	E	
天 井 ク レ ー ン	全般		運転状況	-	-	E	-	E	E	(労)
			荷重試験	-	-	D	-	-	D	(労)*
	安全装置		過巻防止装置	-	-	D	-	-	D	(労)
			横行・走行 リミットスイッチ	-	-	D	-	-	D	(労)
			過負荷警報装置	-	-	D	-	-	D	(労)
			ブレーキ装置	-	-	E	-	-	E	(労)
			クラッチ装置	-	-	E	-	-	E	(労)
	機構部		ワイヤロープの損傷	-	-	E	-	-	E	(労)
			フックの損傷	-	-	E	-	-	E	(労)
			ランウェイガータ 及びサドルの状態	-	-	E	-	-	E	(労)
			横行レールの状態	-	-	E	-	-	E	(労)
	電気関係		ロープリンクの装置	-	-	E	-	-	E	(労)
			配線	-	-	E	-	-	E	(労)
集電装置			-	-	E	-	-	E	(労)	
配電盤			E	E	D (2年毎)	-	-	D	(労)、(自)	
開閉器			-	-	E	-	-	E	(労)	
換 気 設 備	換気ファン	コントローラ	-	-	E	-	-	E	(労)	
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(労)盤にて測定	
		運転状況	-	-	E	-	-	E		
		振動	-	-	H	-	-	M		
		温度	-	-	H	-	-	M		
照 明 設 備	全般	絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		接地抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)	
		開閉器・点滅器・照明器具 コンセント等の損傷、過熱	-	-	E	-	-	E	(自)	
		器具固定部緩み	-	-	T	-	-	T	(自)	
		電線被覆の損傷	-	-	E	-	-	E	(自)	
		配線箇所の湿気、塵埃	-	-	E	-	-	E	(自)	
		絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)盤にて測定	

特記事項



点検・整備チェックシート ゲート設備<待機系設備>

機 場 名: \_\_\_\_\_  
 点検実施  
 年 月 日: \_\_\_\_\_

**吐出しゲート設備(1)**

点 検 方 法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判 定 基 準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装 置 区 分	点 検 整 備		設 備 区 分 I : 待 機 系 設 備									
	点検部位	施設機器 コード	点検内容	定 期 点 検		運 転 時 点 検	臨 時 点 検	定 期 整 備	摘 要			
				月 点 検	年 点 検							
全 般	ゲート設備全般		運転に支障のある異常が発生していないかを確認 *1	-	E	-	E	-	-	-	振動、異音、温度などを確認	
吐 出 し ゲ ー ト 設 備	扉体		構造全体の振動	-	E	(E)	E	-	-	E		
			構造全体の異常音	-	S	(S)	S	-	-	S		
			溶接部の割れ	-	-	E	-	-	-	-	E	
			ボルト・ナットの緩み、脱落	-	-	E	-	-	-	-	T	
			桁の腐食、板厚の測定	-	-	M	-	-	-	-	M	
			スキムプレートの腐食、板厚の測定	-	-	M	-	-	-	-	M	
	支 承 部		主ローラの給油状態	E	E	E	-	-	-	-	A	
			主ローラの作動	-	E	(E)	E	-	-	-	E	
			主ローラの異常音	-	S	(S)	S	-	-	-	S	
			主ローラの損傷、摩耗	-	-	E	-	-	-	-	E	
			補助ローラの給油状態	E	E	E	-	-	-	-	A	
			補助ローラの損傷	-	-	E	-	-	-	-	E	
	水 密 部		ゴム又はメタルの漏水	-	E	E	-	-	-	-	E	
			ゴム又はメタルの変形、損傷	-	-	E	-	-	-	-	X	
			ゴム取付ボルト・ナットの緩み、損傷	-	-	E	-	-	-	-	T	
			ゴム取付ボルト・ナットの脱落	-	-	E	-	-	-	-	E	
	戸 当 た り		ゴム押え板の変形	-	-	E (2年毎)	-	-	-	-	E	
			障害物	E	E	E	-	-	-	-	E	
			戸当たりの損傷、変形	-	-	E	-	-	-	-	E	
			主ローラレールの損傷、磨耗	-	-	E	-	-	-	-	E	
	巻 上 式 ( ス ピ ン ド ル 式 )		補助ローラレールの損傷、磨耗	-	-	E	-	-	-	-	E	
		スピンドルの変形	-	-	E	-	-	-	-	E		
		スピンドルの摩耗	-	-	E	-	-	-	-	M		
		減速機潤滑油量	E	E	E	-	-	-	-	X		
		減速機振動	-	H	(H)	H	-	-	-	H		
		減速機音	-	S	(S)	S	-	-	-	S		
		塗装	-	-	E	-	-	-	-	X		
		電動機の絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	-	M	(自)	
		電動機の接地抵抗	-	-	M	-	-	-	-	M	(自)	
		電動機の温度	-	H	(H)	H	-	-	-	M		
巻 上 式 ( ラ ック 式 )		ラックの変形	-	-	E	-	-	-	-	E		
		ラックの摩耗	-	-	E	-	-	-	-	M		
		減速機潤滑油量	E	E	E	-	-	-	-	X		
		減速機振動	-	H	(H)	H	-	-	-	H		
		減速機音	-	S	(S)	S	-	-	-	S		
		塗装	-	-	E	-	-	-	-	X		
		電動機の絶縁抵抗	-	-	M	-	-	-	-	M	(自)	
		電動機の接地抵抗	-	-	M	-	-	-	-	M	(自)	
	電動機の温度	-	H	(H)	H	-	-	-	M			

特記事項

\*1 致命的機器に該当する場合は実施すること。全般で点検する事項は網掛け部に示す事項である。  
 管理運転では、動作時に振動や異音、温度などを確認する。また、管理運転前後には油量などの確認を実施する。

点検・整備チェックシート ゲート設備<待機系設備>

機 場 名：  
 点検実施  
 年 月 日：

**吐出しゲート設備(2)**

点検方法							
X	交換	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触
D	動作確認			S	聴覚		

判定基準	
○	正常であり、数年の内に異常な状態となる傾向が見られない状態
△	現在、機器・部品の機能に支障が生じていないが、早急に対策を講じないと数年の内に支障が生じる恐れがある状態
×	現在、機器・部品の機能に支障が生じており、緊急に対応すべき状態

装置区分	点検整備		設備区分 I : 待機系設備										
	点検部位	施設機器コード	点検内容	定期点検		運転時点検	臨時点検	定期整備	摘要				
				月点検	年点検								
吐出しゲート設備	開閉装置 (ワイヤロープウインチ式)		ワイヤロープの摩耗	-	-	M	-	-	X				
			ワイヤロープの変形	E	E	E	-	-	E				
			ロープ端末	E	E	E	-	-	E				
			シーブの摩耗	-	-	E	-	-	M				
			シーブ軸の変形	-	-	E	-	-	E				
			シーブ軸受の摩耗	-	-	E	-	-	M				
			ワイヤドラム	-	E	(E)	E	-	E				
			ギヤの摩耗	-	-	-	-	-	M				
			ブレーキシューの摩耗	-	-	-	-	-	M				
			ブレーキドラムの摩耗	-	-	-	-	-	M				
			ブレーキ作動	-	E	(E)	E	-	E				
			各軸受の温度	-	H	(H)	H	-	M				
			各軸受の摩耗	-	-	E	-	-	E				
			フレキシブル軸継手の摩耗	-	-	E	-	-	M				
			減速機潤滑油量	E	E	E	-	-	X				
			減速機振動	-	H	(H)	H	-	H				
			減速機軸受温度	-	H	(H)	H	-	M				
			リミットスイッチ	-	E	(D)	E	-	X				
			電動機の絶縁抵抗	-	-	M	-	-	M	(自)			
			電動機の接地抵抗	-	-	M (2年毎)	-	-	M	(自)			
			電動機の温度	-	H	(H)	H	-	M				
			その他	操作・制御設備		設備全般の外観、清掃状態	E	E	E	-	-	C	
						設備全般の表示ランプ・ヒューズ類	E	E	E	E	E	E	
設備全般の計測器の指示計指示値	-	E				E	E	E	E				
設備全般の異常音	-	S				S	S	S	S				
盤内の湿気、乾燥状態、塵埃	-	-				E	-	-	E				
盤内のコネクタ接続部、電線被覆	-	-				E	-	-	E				
操作機能確認	-	-				D	-	-	D				
制御機能確認	-	-				D	-	-	D				
水位計	-	E				E	-	-	A				
自記記録計	-	E				E	-	-	A				
水位計のセンサと変換器の連動	-	-				E	-	-	D				
水位計コネクタ接続部、端子	-	-				E	-	-	E				
水位計と量水標との水位比較	-	-				E	-	-	A				
開度計のセンサと変換器の連動	-	-				E	-	-	D				
開度計コネクタ接続部・端子	-	-				E	-	-	E				
機器据付状態	-	-				E	-	-	E				
接地状況	-	-				E	E	-	E				
絶縁抵抗	-	-				M	-	-	M	(自)			
接地抵抗	-	-				M	-	-	M	(自)			
各部電圧・電流の測定	-	-				M	-	-	M				
電動機の軸受部・整流子ブラシ・スリップリング	-	-				E	E	-	E				
電動機の伝達機構、起動制御装置	-	-				E	-	-	E				
電熱乾燥装置	-	-				E	-	-	E				
照明器具	-	E	E	-	-	E							
塗装	-	E	E	-	-	X							